

主要課題に関する今後の対応方針案について

主要課題	対応方針案	備考
県、市町村の推進体制	<ul style="list-style-type: none"> 現在進めている市町村における「窓口の設置」について、北陸農政局のHPで公開するとともに、窓口機能の充実のための情報提供等を実施。 教育ファーム推進計画を未策定の市町村に対し、働きかけを実施。 今後の推進体制の整備等について意見交換を行う。 	<p>2月末を目途にHPに公開予定</p> <p>9月頃に意見交換の場を設定</p>
コーディネーターの育成	<p>具体的な「育成策」の検討に資するため、教育ファームの研究者、或いは実際に組織的に教育ファームに取り組んでいる農業団体等をゲストスピーカーに招き、意見等を聴取し課題を整理する。</p>	今回議論・検討
技術的な支援等を行うサポーターの確保	<ul style="list-style-type: none"> 教育ファーム活動に技術的な支援を行っている農業技術者等に対する意識調査を行うとともに、サポーターとしての登録制度の導入の可能性等について検討を行う。 また併せて、普及センター、JA、農業法人などによる組織的な支援体制についても、実態を把握した上で、そのあり方について検討を行う。 同様に、農場等の維持・管理に協力している方々に対する実態調査を行い、今後の確保に向けた検討を行う。 	第6回で議論・検討
教育者や学校関係者の育成	<ul style="list-style-type: none"> 教育ファームについて、児童や生徒に指導できる教育者を育成する上での課題の一つとして、教師となる学生に色々な体験ができる場所を提供していく必要性が挙げられていることから、これにかかる課題と方策等について議論を行う。 	金沢大学をモデルとして、2月から検討を始める
教育ファームを体験することによる効果の把握と分析	<p>平成22年度以降の管内における教育ファーム推進事業の展開に資するため、これまで実施した教育ファーム推進事業についての効果と課題等について、分析・整理を行う。</p>	今回報告
教育ファーム活動に取り組みやすい、参加しやすい環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い層の教育ファームへの参画を促すため、現在収集・整理を進めている管内の教育ファーム活動について、活動主体、活動内容、問い合わせ先等の情報を北陸農政局のHPで公開する。 各県段階で、教育ファーム活動を行っている方々の交流会の開催を企画する。 	<p>2月末を目途にHPに公開予定</p> <p>2～3月に石川で先行的に実施。その後、新潟・富山・福井は開催を検討。</p>

平成22年2月2日現在